

スワコワタカイガラモドキなど

6～7月頃にバラ科樹木各種やグミの枝や細い幹につくカイガラムシ。半球形で、白い粉に覆われる。最大長8mm。
北海道では市街地で多発することがあるといわれているが、まれのようである。



1. コナカイガラムシの1種。雌成虫，体長7mm。1983/7.

小清水原生花園，ハマナス.

スワコワタカイガラモドキ

【学名】 *Coccura suwakoensis*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , コナカイガラムシ科 (Pseudcoccidae)

【分布】 北海道，本州；ロシア.

【宿主】 バラ科 (サクラ，リンゴ，ナシ，マルメロ) ， グミなど.

コナカイガラムシの1種 (写真1) (文献1983)

【学名】 *Coccura* sp.

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , コナカイガラムシ科 (Pseudcoccidae)

【分布】 北海道.

【宿主】 ハマナス.

【生態】

スワコワタカイガラモドキは長野県では幼虫越冬，幼虫の孵化時期は6月下旬～8月上旬の長期にわたる。

小清水原生花園のハマナスにおいてコナカイガラムシの1種として報告された種は，年1回発生，幼虫の孵化は7月下旬から始まり，幼虫は秋まで葉で加害，秋～翌春は枝に移って加害する。

【文献】

1980. 河合省三. 日本原色カイガラムシ図鑑. 全国農村教育協会，東京. (分類，形態，生態)

*1983. 上条一昭, 駒井古実, 鈴木重孝. ハマナスを加害する害虫. 光珠内季報, 55: 17-21. (ハマナスのコナカイガラムシの1種の報告)

*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

スワコワタカイガラモドキなど kaigara/suwakowa/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/5.
musi.JPG

「写真1」 鈴木重孝, 北海道立林業試験場, 1983.